

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 新島学園中学校・高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育  
☐ 中学校 ☒ 中高一貫教育 ☐ 高等学校  
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育  
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ( )

所在地 〒379-0116  
群馬県安中市安中 3702

E-mail office@mail.neesima.ac.jp

Website <http://namesv.neesima.ac.jp/>

生徒数 男子 586 名 女子 680 名 合計 1266 名  
 生徒の年齢 12 歳～18 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☐ そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

世界の様々な状況下におかれた人々のことを考えるとともに、ごみの削減やリサイクルなど地球環境についても問題意識を持つことを目的に、年間を通して全校 ESD テーマ「他者を理解し、世界規模で考え、行動する」を目標とし、活動を行った。主な活動は以下の5つである。

#### ①リサイクル活動

「環境問題や世界の貧困問題が自らの生活とつながっていることを認識する」ことを学ぶために、美化衛生委員とインターアクト部員を中心に全校でエコキャップ運動に取り組んだ。普段の生活の中でごみの分別とキャップの回収を習慣化するために、各学年でエコキャップ専用の箱を設置した。毎週土曜日には全校でキャップを回収するシステムを徹底し、年度末には集まったキャップの数を集計した。回収されたキャップの収益が発展途上国の子どものワクチンのために使用されていることを知り、リサイクルの重要性とともに世界で起きている諸問題について考えることができた。

#### ②清掃活動

HR の時間を使い、年に2回の校内清掃を通し、環境問題の大切さを再認識している。また、年に数回各学年で自分たちの通学路をきれいにする「駅まで清掃」も実施した。

#### ③国際理解の学習

国際理解の授業「自分の国と他国との違いを認識し、多文化共生について考えられること」を目的とし、興味のある国を調べ、レポートを書き、パワーポイントを使用し、発表し、全体でディスカッションを行った。第1学年と第2学年の国際理解の時間を使用して、世界の様々な文化について学習し、異文化理解能力を育成されている。

#### ④英語によるプレゼンテーション

「文化や考え方などの多様性や差異を再認識し、自国について改めて学ぶ」ことが必要なので日本の伝統や文化について英語でレポートを書き、英語でプレゼンテーションを行った。第2学年の国際理解の授業を使用した。

#### ⑤海外研修

第3学年～第5学年対象で「国際的な視野を持つこと」を目的とし、実際に海外で研修を行った。ホームステイをし、現地で他国の文化を体感し、異文化理解ができるような精神を育成された。さらに、フィリピン医療ボランティアを実施した。帰国後は、レポートを書き、プレゼンテーションを実施した。第4学年と第5学年対象で実施し、自ら募金活動や海外での研修やボランティア活動を積極的に行うようになった。

#### ⑥学校農園での活動

「生徒自身が自らの食べ物を自身で作ること」の大切さを再確認する必要があるので、学園ファームで5月にサツマイモの苗を植え、10月に収穫をし、自然に感謝する精神を学んでいる。事前にサツマイモがどのように育つか予想をスケッチし、経過観察を行った。農園で作物を育てることで地産地消の意識を高め、自然の恵みに感謝し、豊かな心を育むことができた。第1学年のHRを使用した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☒ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）